

## 世界医師会（WMA）レイキャビク総会の件

1. 出張期間：平成30年9月30日（日）～10月8日（月）
2. 出張先：レイキャビク（アイスランド）
3. 出張者：横倉会長（WMA会長）、松原副会長（WMA理事）、  
道永常任理事（WMA理事）、星参与（WMA理事）、畔柳参与、  
澤日医総研研究部長、日本医師会 JDN 佐藤峰嘉、林伸彦  
（随員）国際課 能登課長・小林主査

### 4. 日程：

- |       |     |   |                            |
|-------|-----|---|----------------------------|
| 10月1日 | （月） | 役員会議、JDN ミーティング                             |                            |
| 2日    | （火） | アイスランド大統領との面会<br>作業部会、WMA 医の倫理会議、JDN ミーティング |                            |
| }     | 3日  | （水）   | 理事会予備会議、社会医学、医の倫理、財務企画各委員会 |
|       | 4日  | （木）   | 準会員会議、学術集会（WMA 医の倫理会議）     |
|       | 5日  | （金）   | 理事会、総会式典（横倉会長世界医師会長退任挨拶）   |
|       | 6日  | （土）   | 総会、理事会                     |

### 5. 概要：

10月2日、横倉会長がアイスランド医師会ジョン・スネーデル元 WMA 会長、レイニュー・アリングリムソン アイスランド医師会長とともに、グズニ・ヨハンネソン アイスランド大統領と面談を行った。

10月5日、アイスランド大統領臨席のもと、総会式典が開催された。式典には、代表団の他、都道府県医師会から26名が出席した。

式典では、横倉会長が第68代 WMA 会長の退任挨拶を行った。挨拶では、1年間の活動を振り返り、様々な国の会議への出席、UHC フォーラム 2017、WHO テドロス事務局長との UHC の推進をテーマとした覚書の締結、日本の医療状況の推移から、UHC の達成には時間を要することに言及。2019年の H20 開催を提案した。さらに、今後も、レオニード・エイデルマン WMA 新会長やオトマー・クロイバー事務総長とともに UHC の推進に取り組んでいくとした。挨拶終了後、アーディス・ホヴェン議長より横倉会長に元 WMA 会長メダルが贈られた。引き続き、エイデルマン イスラエル医師会元会長が WMA 新会長就任演説を行い、第69代 WMA 会長に就任した。横倉会長は2019年10月までの1年間、WMA 前会長を務める。また、2019年から20年の WMA 会長選挙では、ミゲル・ジョルジュ ブラジル医師会理事が選出された。

総会では、「母子健康手帳の開発と普及に関する WMA 声明」が採択された。本声明は、日本医師会が4月の WMA リガ理事会に提出し、その後加盟医師会に回付され、コメントを反映して修正された文書である。

## 6. 参 加

約 240 名：40 加盟各国医師会、JDN、赤十字国際委員会、欧州医師常設委員会、国際軍事医学委員会、世界教育連盟、国際製薬医学会、世界獣医師会、核戦争防止国際医師会議（IPPNW）、国際医学生連盟（IFMSA）等

## 7. 役員会議

10 月 1 日、横倉会長が役員会議に出席し、WMA 会長報告として国連総会における NCDs に関するハイレベル会合において WMA 会長としてスピーカーを務めたことを報告した。

## 8. 作業部会

「遺伝学と医療に関する作業部会」、「アドボカシーに関する作業部会」、「医の国際倫理綱領に関する作業部会」に道永常任理事が出席した。

## 9. 総会での主な議決事項

### 1) 医の倫理委員会

採択文書

「医学的妊娠中絶に関する WMA 声明修正」

「遠隔医療の倫理に関する WMA 声明修正」

「重大な刑事犯罪で起訴を免れた医師の免許交付に関する WMA 修正」

「バイオ医薬品に関する WMA 声明修正」

「死刑に医師が参加することを禁止する WMA 決議」

コメントを求めるため加盟医師会に回付される文書

「拷問および虐待の行為を記録し非難する医師の責任に関する WMA 決議の大幅修正案」

「男女産み分けと女子胎児殺しに関する WMA 声明修正案」

「安楽死と医師の支援による死亡（PAD）に関する声明、決議、宣言の再審議案」

作業部会設置

「生殖技術」に関して作業部会で検討することになり、日本が作業部会メンバーとなった。

### 2) 社会医学委員会

採択文書

「医療ツーリズムに関する WMA 声明」

「医療における男女の平等に関する WMA 声明」

「プロフェッショナル・オートノミーと臨床上の独立性に関する WMA ソウル宣言修正」

「持続可能な開発に関する WMA 声明」

「鳥インフルエンザとパンデミック・インフルエンザに関する WMA 声明」

「核兵器に関する WMA 声明修正」

「環境悪化と化学物質の健全な管理に関する WMA 声明修正」

「母子健康手帳の開発と普及に関する WMA 声明」

日本医師会が4月のWMAリガ理事会に提出し、その後加盟医師会に回付され、修正された文書である。松原副会長より、日本発祥の母子健康手帳は、母と子と家族の健康増進に大きく貢献してきたものであると説明を行い、各国の状況に応じた母子健康手帳の普及を自国の保健当局、医療機関へ働きかけることを呼びかけ、採択された。参考資料として、母子健康手帳の英語版を配布した。9月13日、WHOは「母子の健康に関わる家庭用記録に関するガイドライン」を公表し、今後、世界のすべての国で活用していくことを推奨している。

「移民に関する WMA 決議」

理事会において、スペイン医師会より提出された「移民に関する緊急決議案」について、社会医学委員会で議論することを決定した。委員会での議論を経て、「移民に関する決議」として採択された。

コメントを求めるため加盟医師会に回付される文書

「女性と子どものヘルスケアへのアクセスと医療専門職における女性の役割に関する WMA 決議の修正案」

「抗菌薬耐性に関する WMA 声明修正案」

「ナトリウム摂取量の減少に関する WMA 声明修正案」

「暴力と健康に関する WMA 声明修正案」

「医療における人工あるいは拡張知能に関する WMA 声明案」

「同伴者のない未成年者の亡命希望者の医学的年齢評価に関する WMA 声明案」

「フリーシュガー消費とシュガー甘味飲料に関する WMA 声明案」

「すべての人のためのヘルスケア情報に関する WMA 声明案」

進行議事

星参与より、WMA 災害医療に関するネットワークに関して、9月のCMAAOマレーシア総会において、災害の多いCMAAO地域において取り組みの検討を開始することに合意したことを報告した。さらに、CMAAOでの取り組みをもとに、WMAへ示していきたいと説明を行った。

作業部会設置

「疑似科学、疑似療法、医療への侵害およびカルト団体」に関して作業部会で検討することになり、日本が作業部会メンバーとなった。

### 3) 財務企画関係

#### ①WMA 戦略計画

クロイバー事務総長より WMA 戦略計画に関する報告があった。

10月にアスタナ(カザフスタン)で開催されるプライマリ・ヘルスケアに関する国際会議に関し、WMAが会議への複数招待を得られたのは日本医師会のWHOとの強力なコネクションによるところが大きいとの言及があった。

また、2019年にG20が開催される日本において、日本医師会がH20会合を開催す

る予定であり、医師主導のプライマリケアや UHC を各国の政治家に働きかける重要な機会であると紹介した。H20 開催について、横倉会長より、安倍首相や厚生労働大臣に了承を得ていることを報告した。

## ② 今後の会議開催日程

| 開催年    | 会期           | 開催地           |
|--------|--------------|---------------|
| 2019 年 | 4 月 25－27 日  | サンティアゴ理事会（チリ） |
|        | 10 月 23－26 日 | トビリシ総会（ジョージア） |
| 2020 年 | 4 月 16－18 日  | ポルト理事会（ポルトガル） |
|        | 10 月 21－24 日 | コルドバ総会（スペイン）  |
| 2021 年 | 4 月 22－24 日  | 理事会（開催地未定）    |
|        | 10 月 13－16 日 | ロンドン総会（イギリス）  |
| 2022 年 | 4 月 7－ 9 日   | パリ理事会（フランス）   |
|        | 10 月 5－ 8 日  | ベルリン総会（ドイツ）   |
| 2023 年 | 4 月          | 理事会（開催地未定）    |
|        | 10 月         | キガリ総会（ルワンダ）   |

## ③ 新規加盟医師会の申請

なし。

総会開催中、カナダ医師会が脱退したため、113 加盟医師会となった。

## ④ WMA 新地域「東地中海」に関する WMA 定款細則改定

アラビア半島とその隣接する地域において、多くの医師会が WMA 加盟に対する関心を高める可能性や WHO の地域分けを考慮し、WMA 新地域として「東地中海（EMR）」を創設することになった。それにより、WMA の地域は、ヨーロッパ、アジア、大洋州、ラテンアメリカ及びカリブ海、アフリカ、北米、東地中海の 7 つとなった。

## 10. 学術集会（WMA 医の倫理会議）

10 月 2 日から 4 日、WMA レイキャビク総会に合わせて WMA 医の倫理会議が開催され、2 日の開会に際して横倉会長が WMA 会長として挨拶を行った。4 日の学術集会は、WMA 医の倫理会議と合同のプログラムであった。

### プログラム

- ・全体プレゼンテーション
- ・安楽死と医師の支援を受けてなされる自殺：終末期に関する WMA 地域会議報告  
昨年 9 月の CMAAO 東京総会で議論された終末期に関するアジア各国の見解について、畔柳参与が報告を行った。  
その他、ヨーロッパ、アフリカ、ラテンアメリカ各地域で行われた終末期に関する会議について、それぞれ報告があった。

- ・安楽死と医師の支援を受けてなされる自殺Ⅱ
- ・ヘルスデータに関する倫理的配慮

#### 11. その他

レイキャビク滞在中に、在アイスランド日本国大使館の北川靖彦大使ご招待による夕食会に参加し、懇談を行った。

以上